



ぐぐっ！と議会を身近に

議会や市政の情報をわかりやすくお伝えするため、情報発信に努めています。



市議会レポート

年4回の議会のお知らせ号と報告号を発行。過去の通信はHPでみることができます



議会報告&意見交換会

新型コロナウイルス感染症が拡大後は、オンラインも併用



議会報告

まちなかや駅前



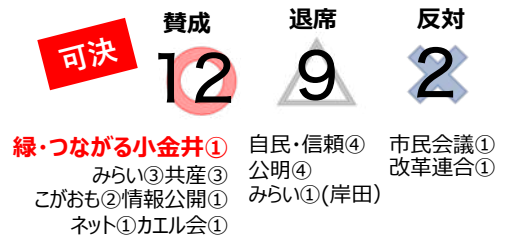
インターネット

ブログやtwitter、facebookも活用

もっと！女性の声の反映を

森喜朗氏の女性差別発言に抗議する意見書可決

「女性がたくさん入っている会議は時間がかかる」発言はとんでもない！
ジェンダーギャップ指数が153カ国中121位という日本の現状を表しています。



※ 会派名は略称
※ 議長(自民・信頼①)は可否同数の場合のみ採決に参加

議論や意思決定にもっと女性を

小金井市議会の女性比率
37.5%
(2021年2月)

審議会の女性比率
33.2%
(2020年4月)

市役所の部長職
女性ゼロ
(2021年2月)

全国の自治体議会で女性ゼロ議会は2割ほどあります。小金井市議会は24人中9人が女性で37.5%。全国の市区町村議会では24位(2019年度総務省)です。人口の半数は女性なのに、議論や意思決定の場に女性が少ないので、50%を目指すべき。

応援します！

- 上原公子(元国立市長)
- 吉岡淳(カフェスロー代表)
- 山田真(小児科医)
- 佐藤かおり(パープルユニオン 執行委員長)
- 金聖雄(映画監督)
- 会津素子(千葉県成田市議会議員)
- 高坂勝(緑の党グリーンズジャパン初代共同代表)

- 【市内在住】
- 岡田暁子・岡田哲・木村雄喜
 - 小林幸江(東京外国語大学名誉教授)
 - 佐藤宮子(女子少年院外部講師)
 - 澤田慎一郎・春原真子(道踏画地権者)
 - 関根幸恵・豊田淑子・橋本美緒
 - 福土正博(東京経済大学教授・元副学長)
 - 八木香・若林苗子

自己紹介動画を配信中



<坂井えつ子 プロフィール>
●1980年大阪生まれ。緑町に転入、現在は桜町在住。緑小、緑中、小金井北高、日本大学法学部卒業 ●日本福祉教育専門学校入学 ●2015年市議補選で初当選 ●2017年再選。厚生文教委員、庁舎及び福祉会館建設等調査特別委員、議会運営委員、広報協議会委員 ●湖南衛生組合議員、三多摩上下水及び道路建設促進協議会 第3委員会(道路)、小金井市土地開発公社評議員 ●自治体議員政策情報センター「虹とみどり」、反原発自治体議員・市民連盟、全国フェミニスト議員連盟、緑の党グリーンズジャパン、市民自治をめざす三多摩議員ネットワーク、市民自治こがねいなどに参加

<会員募集中！>
活動のためのカンパも歓迎です
年会費：一口2,000円
郵便振替口座：00130-3-652172
名義：坂井えつ子とつながる小金井の会

連絡先
本町2-19-6 3-ポ 美映1-105
TEL：090-1796-7652
Mail：info@sakaietsuko.com



坂井えつ子 検索

小金井市議会議員

坂井えつ子

2021年2月20日 発行：坂井えつ子とつながる小金井の会(本町2-19-6 1-105 TEL:090-1796-7652)

つながる小金井通信 vol.57

市民とともに政策提案

初当選から5年が経ちました。前職の障がい者福祉施設での経験を活かしながら、市民とともに活動してきた中で把握した課題を、議会で取り上げてきました。なかには、市が制度を整えたものもあります。政治の役割は、困っている人を生み出さない仕組みをつくることです。30年住み慣れた小金井のまちで市政に声を届け続けていきます。

坂井えつ子



- 1 みどりを守り、次世代につなぐ
- 2 “新型コロナ”支援策
- 3 人権を守る福祉政策
- 4 脱炭素&脱原発のまちづくり
- 5 多様な性のあり方の尊重
- 6 市民主体の小金井に&議会改革
- 7 環境配慮の新庁舎・新福祉会館

1 みどりを守り、次世代につなぐ

はげと野川を壊す道路はいらない

59年前に決定された東京都の道路計画が、5年前に突如、優先整備路線に選定されました。はげや野川、地域コミュニティーを守るため、都に計画の見直し等を求める意見書を9回、可決しています。



道路計画で分断されるムジナ坂

玉川上水の生物多様性を尊重しよう

小金井地域の玉川上水では、史跡の維持管理のほか、桜の生育を阻害するという理由で樹木が皆伐されています。これまで生きてきた樹木や草花のいのちを尊重することを求め続けています。



2021.1 皆伐状態の玉川上水

小金井桜復活のため上水の樹木伐採が続き、夏の涼しさ・空気の浄化・多種の小鳥の声・希少な草花・未来に引き継ぎたい多くを失いました。さらなる温暖化が懸念され、桜にも人にも過酷な環境です。伐採範囲を広げず多様な緑との共存ができる管理を求めています。
つねに多様性を大切に考えてくれる坂井さん！応援しています。

橋本承子(緑町)

2 “新型コロナ” 困っている人への支援策を

ここまで 昨年の緊急事態宣言の際は、WEBとハガキによるお困りごとアンケートを行い、市に要望書を届けました。妊婦へのサポートが充実するなど制度化されたことも。その後も、通信に相談連絡先を掲載するなどわかりやすい情報提供に努めました。



民間団体が行った全国一斉の無料電話相談会に参加

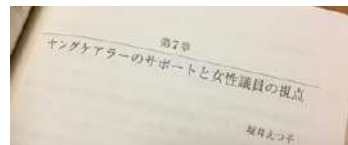
- ここ**から
- 保健所との連携強化
 - 自宅療養者への支援
 - 国や都の支援漏れは市がサポートを
 - ワクチン接種の情報提供

3 人権を守る福祉政策を

社会にあるバリアを見つけ解消していくためには、当事者の声を聞くことが大切です。年齢や障がいの有無にかかわらず、地域で安心して暮らせる制度の拡充を。

ここまで 障がい者差別解消条例 → 2018年制定

婦人相談員の非常勤化にNO！ → 常勤職が再配置
障がい者福祉施設の販売機会増 → 大型スーパーでイベント販売



ヤングケアラー支援の質問が注目され、坂井の経験も含めてNWEC実践研究に記事を執筆しました



- ここ**から
- 移動支援の拡充
 - 地域の学校で学べる合理的配慮
 - ケアラーサポート
 - 手話言語条例の制定
 - 福祉と農業の連携
 - 65歳問題を起こさない

4 脱炭素&脱原発のまちづくり

市公共施設からのCO2排出量削減のための提案や気候非常事態宣言を求めてきましたが、なかなか進まず。4月に改定される地球温暖化対策地域推進計画案のCO2削減目標が低すぎて残念。脱炭素と脱原発で、将来世代が住み続けられる環境をつなげるよう取り組んでいます。

環境政策提案 ピカイチ

ここまで 市役所を再生可能エネルギー100%に → 2021年度実施予定



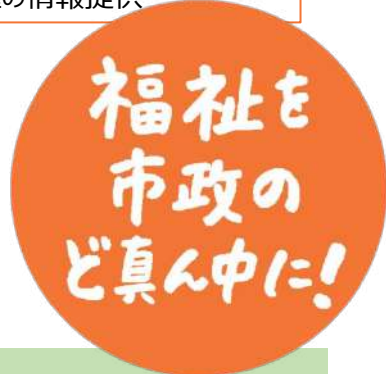
日本初のCEDシンポジウムに“気候危機自治体議員の会”を代表して登壇

ここから 公共施設を再生可能エネルギー100%に

- 2030年にCO2排出65%削減
- 気候非常事態宣言(CED)
- 原発や化石燃料に頼らない電力会社から電気を買おう

3.11東日本大震災 東京電力福島第一原発の事故から10年

子どもの発達障害がわかってから、一般的な育ちをする子との違いと居場所のなさを感じてきました。「普通」って「障害」って？ 多様性を認め合える社会をつくるために、当事者の声に耳を傾け続ける坂井さんを応援します。
当事者の親（市内）



5 多様な性のあり方を尊重しよう

LGBTに総称される性的少数者の方の人権をようやく社会が理解し始めました。当事者の声を聞きながら、議会でも力を入れています。実効性ある制度を!!

ここまで パートナーシップ宣誓制度 → 2020年10月スタート

パートナーシップ宣誓者等の市営住宅入居申込み → 4月開始予定
マイナンバーカードの性別表記欄をなくすことを求める意見書 → 可決
加害者=男性 被害者=女性になっているDVカード → 変更

2年前、駅でレインボーフラッグののぼり旗が目にとまり、ピラを受け取ると、LGBTQを題材とした映画上映会のお知らせが。そこで坂井さん、そして多様な性を尊重する小金井の会に出会いました。以来、パートナーシップ宣誓制度実現を目指す方々との活動を重ね、ようやく制度開始へ。現在は制度の周知および活用を広げるために共に活動を続ける坂井さんをこれからも応援していきます。 ユウ（前原町）

- ここ**から
- 他自治体との相互連携
 - 医療機関等への周知と連携
 - 学校教育で性の多様性の理解
 - ファミリーシップ制の導入
 - 同性婚の法制化
 - 学校の標準服を選択制に

6 市民主体の小金井に & もっと議会改革

まちづくりの主体は市民なので、もっと市民の声を反映できる仕組みづくりを。市政を監視する役割のある議会の改革も必要です。

残念ながら「器だけ」「ガス抜き装置」になっている市民参加も多い現実…。行政情報に近い議員が、必要な「情報」と「タイミング」をキャッチして幅広い市民と連携すれば、市民参加が機能して、「市民が主役のまちづくり」の実現に向かいます。坂井さんの情報発信とソフトな調整力に期待します。
漢人あきこ（元小金井市議）

ここまで 政務活動費の領収書の公開 → 実施
市議会傍聴アンケート箱の常設 → 実施
期日前投票所増設 → マロンホールと西之台会館



2018年の市議会主催の議会報告会では副実行委員長となり、チラシや画像データを

ここから

- 市議会主催の議会報告会を年4回開催
- “若者議会”の創設
- 議会による出前授業

7 環境配慮&共生社会の拠点となる新庁舎&新福祉会館を

ここまで 総事業費が100億円を超える大きな事業！少なくとも60年は使い続ける建物です。ZEB(省エネ&創エネで実質の消費エネルギーをゼロにする)や、障がい者福祉施設の売店を入れるように&バリアフリー対応などを提案してきました。

ここから 設計の最後で、浸水対策の必要性を認識したため、土を盛って対応することに。竣工が7ヶ月遅れます。

竣工予定 (仮称)新福祉会館 2023年7月
新庁舎 2024年8月